

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教師教育学領域

科学研究費 基盤研究(B) 2015年度～2019年度

授業実践学の文化的基底に関する比較開発研究
本研究の目的は、グローバルな現代社会におけるペダゴジーの文化的基底(cultural foundation of pedagogy)の様相とその機能を解明することである。ペダゴジーは、教育思想と教育方法の融合した概念あり、教えるということの全般(アート、サイエンス、クラフト)に及ぶものである。

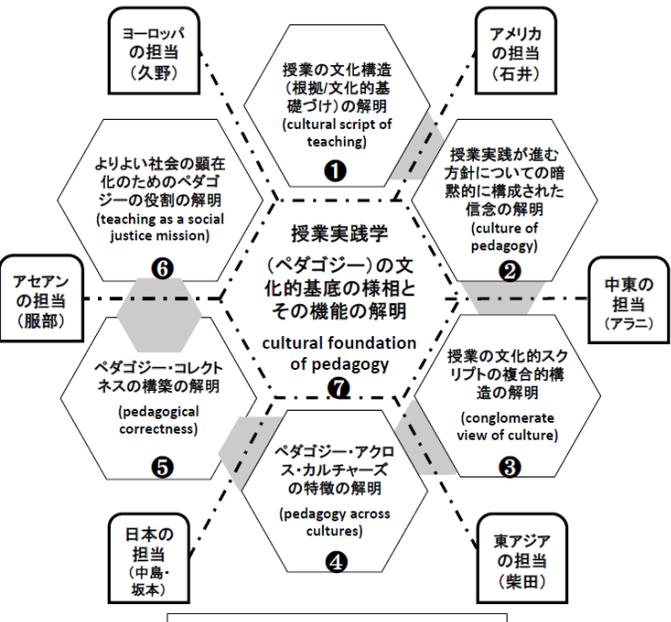


図1 研究の全体枠組と研究課題

科学研究費 挑戦的萌芽研究 2015年度～2017年度

比較授業分析によるペダゴジカル・コレクトネスの解明と構築
本研究の目的は、国際比較授業分析という研究手法を通して、授業の文化的構造を解明し、ペダゴジカル・コレクトネス(pedagogical correctness)の概念(内包と外延)を解明することである。ペダゴジーがよりよい社会の構築やその持続可能性に貢献するための文化的な役割・影響・働きを、ペダゴジカル・コレクトネスととらえる。

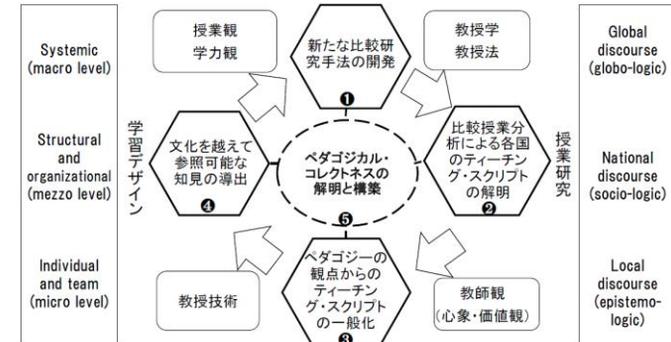


図1 研究の全体枠組と研究課題

比較授業分析による “The DNA of Teaching” の解明

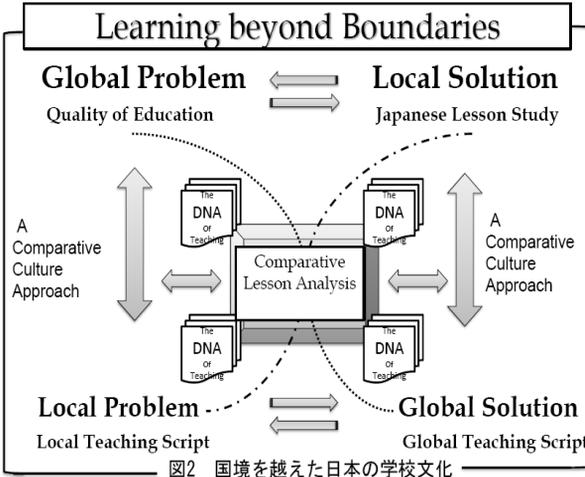
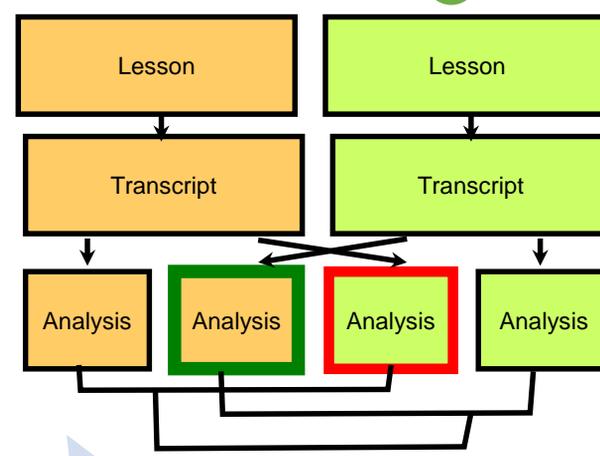
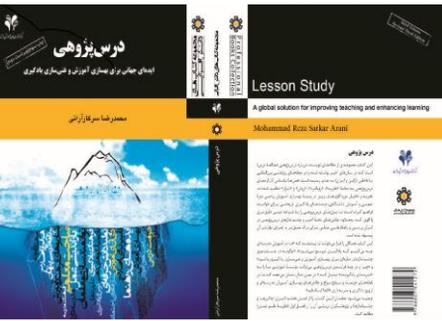


図2 国境を越えた日本の学校文化

教師教育研究
専門職としての教師の発達を
国際的な視野から問い直す



サルカルアラニモハメッドレザ (2011) 教員のティーチング・スクリプトに関する研究—中学校の数学授業のコミュニケーションの国際比較授業分析—『日本教育方法学会第47回大会・秋田大学』自由研究12 (未公開)



Sarkar Arami, M.R. (2015). Lesson Study A Global Solution for Improving Teaching and Enhancing Learning, Revised Third Edition, Tehran: Meraat Publishing (in Persian).

